

県議会一般質問要旨

耕作放棄の農地  
1万鈔が再生可能



自民党の信田光保議員は、県内の耕作放棄地の現

状を尋ねた。森田健作知事は「2012年度の再生可能な耕作放棄地は9830鈔で、このうち優良農地である農用地区域は減少傾向に転じているものの、いまだに45%を占めている」と報告。昨年12月に策定した県農林水産業振興計画では17年度までに3千鈔の解消を目標としており「国の交付金制度も活用し再生利用に向けた取り組みを支援していく」と述べた。

DV被害者情報  
適正化へ追加調査



自民党の坂下茂樹議員は、DV被害者の住所情報が加害者に漏れる事案が全国的に相次いでいる問題を取り上げた。

総務省が本年6月に示した住民基本台帳の適正化の留意点を踏まえ、県は9月、市町村の事務処理の状況を調査。結果について平井俊行総務部長は「支援措置責任者の設置など十分な対応ができていない市町村もあった。今後、さらに追加調査をするなど市町村の支援措置の充実に努める」と述べた。

高校自転車通学  
保険加入は4割



民主党の中田学議員は、公立高校の自転車通学者の

状況を聞いた。滝本寛教育長は「昨年度の公立高校の自転車通学者は6万3959人で、全体の約64%に上っている」と報告。一方、自転車保険加入者は昨年10月現在、自転車通学者の約4割で、滝本教育長は「加害者となった場合は高額な賠償金を請求される例もあることから、中小高校生の自転車保険への加入を働き掛けている」と述べた。

九十九里海岸に  
10ヶ所で津波対策



自民党の阿井伸也議員は、東日本大震災で津波被害を受けた九十九里沿岸の

海岸堤防や、防災機能が認められた海岸保安林の整備状況について質問した。永田健県土整備部長は「甚大な浸水被害が生じた旭市の飯岡海岸から順次、海岸堤防や砂丘のかさ上げ工事を行っている」と説明。本年度末までに、海岸保全区域では旭市の海岸堤防約1ヶ所、保安林指定区域では旭市など7市町で砂丘約9ヶ所の計約10ヶ所が完成する見通しを示した。

県内の障害児は1037人  
放課後クラブ



12月県議会は一般質問最終日の10日、自民党の信田光保（銚子市）、坂下茂（樹市川市）、阿井伸也（大

網白里市）、民主党の中田学（柏市）の4議員が登壇した。森田健作知事は、県内の放課後児童クラブにおける障害児の受け入れ人数が1037人になることを明らかにした。坂下議員の質問に答えた。

森田知事は「障害児の受け入れを促進するため放課後児童クラブの実施主体である市町村に対し指導員の配置や手すりの設置などの経費の一部を助成している」と説明した。

来年度から始まる子ども子育て新制度で受け入れ児童数の拡大を図るとしており「障害児の受け入れが一層進むよう引き続き市町村の取り組みを支援する」と述べた。放課後児童クラブの障害児の待機児童は県全体では14人。